

消費者安全調査委員会「学校の施設又は設備による事故等」調査報告書

1. 調査の概要

消費者安全調査委員会は、被害の発生又は拡大の防止を図るため、小中学生が被災した事故等のうち、主に学校の施設又は設備が原因で発生したと考えられる事故等について、公立の小中学校を中心に調査を実施（以下は訪問した学校において確認された、死亡の危険のある設備例）。その結果を取りまとめた報告書が令和5年3月3日に公表された。



写真1 教室の窓際に設置された棚



図1 事故イメージ
（棚に登り窓から転落）



写真2 固定されていない
積み重ねられた棚の例



図2 事故のイメージ
（棚の転倒及び落下）

2. 原因

学校の施設又は設備による事故等の主たる原因の一つは、実効性のある安全点検が実施されていないことである。この理由として、効果的な安全点検の手法が標準化されていないこと及び、担い手の支援が不十分であることの二つが考えられる。

文部科学大臣への意見

1 安全点検の改善

(1) 安全点検に関する手法の改善

学校における施設又は設備の安全点検に関する手法について、労働安全分野等におけるリスクアセスメント等の知見を参考とした改善を行うこと。

(2) 安全点検に関する担い手の支援

学校における施設又は設備の安全点検に関する担い手について、教職員が担うべき業務、確認すべき資料を精査するとともに、外部人材の活用が促進されるよう支援すること。

2 緊急的対策の実施

安全点検の改善に先立ち、教職員の負担に配慮しつつ、学校に対し、死亡事故が発生する可能性のある箇所（転落の危険のある窓や固定されず積み重ねられたロッカー等）の点検を依頼し、その結果について把握、検証すること。

点検にあたって、外部人材の活用が可能な場合には、その活用を検討することも依頼すること。

緊急的対策の実施（２）について

- 消費者安全調査委員会から、小中学生が死亡に至る可能性のある施設及び設備については、「致命的」なリスクがあると指摘されており、直ちにリスク低減の措置を行う必要があるとされているところです。
- 特に、①窓際の設置物、②固定されていない積み重ねられた棚について、回答日時点で、「対策が進んでいる」あるいは「対策の目途が立っている」と回答した学校が半数以上を占める一方で、「対策の目途が立っていない」との回答も一部見られる状況です。



①窓際の設置物の例



②固定されていない積み重ねられた棚の例

対策済みの場合

- 教室内の設置物等について、一度撤去・移動した場合であっても、日々の活動等の中で（別の場所にあった構造物を一時的に持ち込む等により）再設置され、再びリスクのある状況が生じる可能性があります。リスクを低減した状態を確実に維持できるよう引き続きご留意願います。

これから対策を講ずる場合

- 対策の見通しが立っている場合であっても、可能な範囲でなるべく早急に対策が完了するような対応をお願いします。
- 対策の見通しが立っていない場合は、令和6年1月末までに対策方針（いつまでにどのような対策をとるのかの見通し）を立てていただくようお願いします。
- 併せて、対策が完了するまでの間、暫定的な措置を講ずる等、最大限のリスク低減策を講ずるようお願いします。

未回答（文科省からの提供リストに記載のない学校）の場合

- 状況を把握したうえで、上記の対応をお願いします。

※ 対応に当たっては次ページ以降の資料を参照ください。

① 窓際の設置物に係る対応について

【発生する可能性のある事故】

棚にあがり窓の開閉や清掃等を行う、カーテンが閉じられている状態で窓が開いていることに気づかず寄りかかる等による**転落事故**

【リスクの見積もり】

- ・階層によっては転落の際に死亡に至る可能性があり「**致命的**」
- ・窓の操作は日常的なものであり、発生可能性は「**比較的高い**」

(消費者安全調査委員会(令和5年3月)の指摘より)



【必要な対策】

※リスクの高さから「(暫定)管理的対策」のみの実施は十分ではないと指摘されています。

このことを踏まえ、(1)や(2)について、対策方針(いつまでに何をするか)を立てていただくようお願いします。

(1)設計段階における措置

- ・棚等の設置物の撤去
- ・危険源の除去
- (窓を全開できないようにする等)

(2)工学的対策

- ・手すり、転落防止ネットの設置
- ・進入防止措置

(暫定)管理的対策

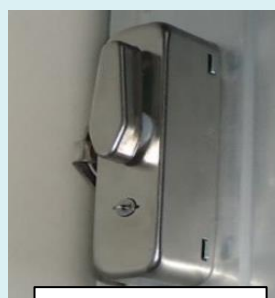
- ・窓からの転落防止に係る安全教育
- ・注意標識掲示

(暫定)管理的対策のみとならないよう、(1)(2)の対策方針を立てていただくようお願いします

● 対策の例(該当する設置物・窓について) ●



開放防止
ストッパーの設置



鍵付きクレセント
の設置

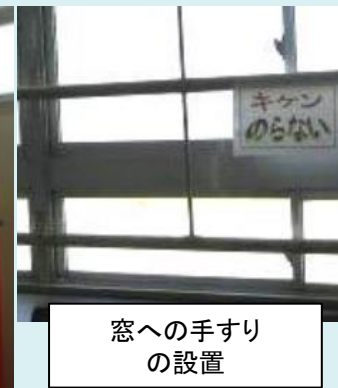


撤去不可な設置物への掲示

掲示は暫定的な措置とし
(1)や(2)による
対策方針を立てて
いただくようお願いします



窓付近への
進入防止措置



窓への手すり
の設置

② 固定されていない積み重ねられた棚に係る対応について

【発生する可能性のある事故】

棚に触れた際や地震等により積まれた棚が転倒・落下し、子供を**押しつぶす事故**、棚が倒れてきた勢いで子供が**後方に転倒する事故**

【リスクの見積もり】

- ・頭部の損傷により死亡にいたる可能性があり「**致命的**」
- ・棚の操作は日常的なものであり、発生可能性は「**極めて高い**」

(消費者安全調査委員会(令和5年3月)の指摘より)



【必要な対策】

※リスクの高さから「(暫定)管理的対策」のみの実施は十分ではないと指摘されています。

このことを踏まえ、(1)や(2)について、対策方針(いつまでに何をするか)を立てていただくようお願いします。

(1)設計段階における措置

- ・固定されていない積み重ねられた棚をおろす

(2)工学的対策

- ・棚を床や壁に固定する
- ・積み重ねる棚は連結固定が可能なものとする

(暫定)管理的対策

- ・子供への使い方の指導

(暫定)管理的対策のみとならないよう、(1)(2)の対策方針を立てていただくようお願いします

● 対策の例 ●



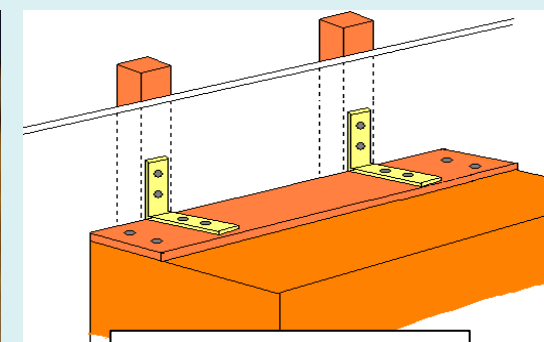
固定されていない積み重ねられた棚等を除去する



棚同士の連結による固定の例



棚の下部を固定した例



L字型金具による固定の例

